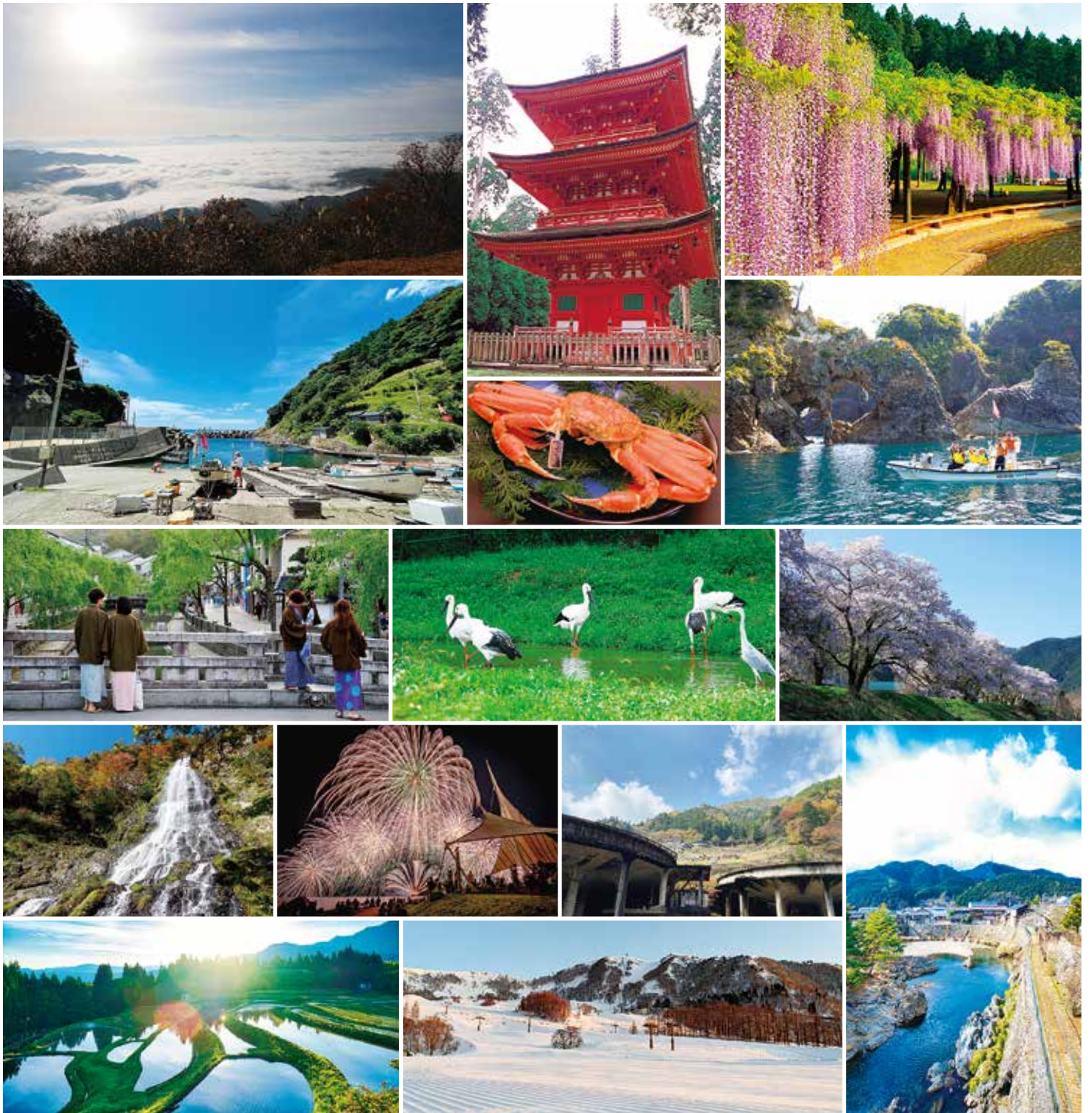




令和5年度 但馬産業大賞

令和6年2月



審査委員会／令和5年10月16日(月)
表彰式／令和6年2月6日(火)



兵庫県但馬県民局長
多田 欣也

ごあいさつ

但馬は、豊かな自然や歴史・風土のもとに、高度な伝統技術や先端技術を持つ地域産業、人々に憩いと安らぎを与える観光産業、自然の恵みを大切にした農林水産業などを育み、同時にそれぞれの産業が地域の発展を支えてきました。

但馬県民局ではこれからの但馬の産業をリードする独創的な技術を持つ事業者、地域資源を有効活用する事業者、新分野にチャレンジする事業者に、「但馬産業大賞」をお贈りしています。平成19年の創設以来、「キラリと世界へ輝く技術部門」30者、「自然と共生する環境創造事業部門」9者、「観光交流資源を活かしたツーリズム部門」28者、「新分野へチャレンジする経営革新部門」を19者、計86者を顕彰いたしました。

今年も斬新なアイデアによる取り組みや新たな成長を求めたチャレンジなど、但馬の産業活力と地域発展の原動力となっておられるグループや事業者の受賞が決まりました。受賞される皆様には心からお喜び申し上げます。

皆様のサービスや取り組みは、今後の但馬が迎える新たな展開に不可欠のものとして堅く信じております。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症相当に移行され、但馬地域もかつての日常を取り戻しつつあります。

しかし、ウクライナ情勢による原材料価格の高騰など、私達を取り巻く昨今の社会経済情勢の急激な変化は、但馬地域の多くの事業者に大きな影響を与え、今なお地域産業は厳しい状況に置かれています。

このような中、地域の活力向上を図るためには、豊かな環境、特色ある農畜水産物、日本遺産を始めとした、但馬が持つ強みを活かした事業を今まで以上に磨き上げ、但馬の産業の魅力・競争力をより高める必要があります。

但馬県民局としても2025年大阪・関西万博に向け、地域一体となった「ひょうごフィールドパビリオン」事業の展開を始め、魅力ある但馬企業の情報発信や人材確保、産業基盤を支える浜坂道路等道路網の早期整備を推進することで地域資源の魅力を高めるとともに、交流人口の拡大、地域経済のさらなる発展に繋げて参ります。

受賞されました皆様にも、事業活動などを通じ、地域づくりに更なるご尽力をいただければ幸いです。

結びに、受賞されました皆様が、今後ますますご発展、ご活躍されると同時に、但馬地域のさらなる飛躍の先駆けとなり、地域産業を力強く牽引していただくことを心から期待しております。



審査委員長
奥田 孝一
(兵庫県立但馬技術大学校大学校長)

講 評

今年度も、関係団体からご推薦をいただいた事業者について、6名の審査委員が技術・手法、独創性、地域への貢献度など様々な面から厳正な審査を行いました。

その結果、令和5年度但馬産業大賞は、2部門で2者が受賞されることとなりましたので、ご紹介いたします。

「観光・交流資源を活かしたツーリズム部門」

○生野高原リゾート

「生野高原リゾート」の復活を目指した事業者の呼びかけに応じ、建築家や移住者・地元企業に金融機関などが賛同され、それぞれの強みを組み合わせることで、高原の魅力を向上させ、生野高原リゾートの復活の道筋を付けられました。

具体的には、放置別荘を貸別荘として運用する仕組みを作り、高原の適切な管理と宿泊施設の確保を両立させることや、個性豊かでデザイン性の高いコテージを建築し、今までになかった若年層へのアプローチにも成功されています。

伝統的なゴルフ場ブランドを生野高原のPRに活用するなど、連携やPR方法の随所に創意工夫が見られるところも大きく評価されました。

観光業は裾野の広い業種であり、関係する事業者や業種も多岐にわたることから、地域産業の受ける恩恵は大きく、生野高原リゾートの復活は地域からも期待を寄せられています。

「新分野へチャレンジする経営革新部門」

○但馬米穀 株式会社

農業の担い手減少の問題に対し、スマート農業の普及と米消費・需要を獲得するための拠点を、廃校を利用して整備。「農業」+「観光」+「資源の再利用」は成長に向けた新たなチャレンジです。

特にスマート農業は、農業従事者の担い手不足という社会的問題を解決するひとつの手段として普及が期待されているものであり、第一次産業が県内の他地域より盛んな但馬地域を本拠としている企業が、本格的なスマート農業の普及事業を行うことは、但馬地域の今後の農業経営に与える影響が大きいと考えられます。

また、施設の有効活用として廃校のグラウンドをグランピング施設へ改修し、但馬の美味しいお米を普及・提供する一つの形を整備することで、但馬産の米消費を促進・拡大させることに成功している点も評価されました。

今回の事業ケースが軌道に乗ることで、次の跡地活用の展開も考えられることから、地域の賑わいや雇用創出、周辺環境の維持管理など、過疎で悩む地域の新たな希望となる可能性を秘めており、さらなる発展が見込まれます。

但馬産業大賞受賞者名簿

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

受賞者名

生野高原リゾート

かつて関西の軽井沢と呼ばれた時代の『生野高原リゾート』復活を目指した取り組み

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

受賞者名

但馬米穀 株式会社

閉校となった小学校跡地を活用したスマート農業の普及及びキャンプ・グランピング事業による地域創生事業へのチャレンジ

但馬産業大賞審査委員会委員名簿

兵庫県立但馬技術大学校	大学校長	奥田孝一(委員長)
兵庫県立工業技術センター	所長	山崎徹(副委員長)
(公財)ひょうご産業活性化センター	常務理事	岩原直子
(公社)ひょうご観光本部	専務理事	佐伯公宏
兵庫県北部農業技術センター	所長	岩本英治
(公財)但馬ふるさとづくり協会	事務局長	竹林誠

生野高原リゾート

かつて関西の軽井沢と呼ばれた時代の『生野高原リゾート』復活を目指した取り組み

約60年前に旧生野町と地元金融機関、地元商工事業者が一体となり、ゴルフ場を中心としたリゾート地構想「生野高原」の開発を行った。しかし近年では、かつて賑わいを見せた別荘地の利用も1割程度となり、その多くは廃墟又は雑木林となり果て、高原全体の産業は衰退の一途をたどっていた。

2020年、「生野高原リゾート」の復活を目指した生野高原開発(株)の呼びかけに、建築家や移住者・地元企業に金融機関などが賛同。事業者それぞれの強みを組み合わせることで、高原の魅力を向上させ、生野高原リゾートの復活の道筋を付けた。

具体的には、放置別荘を貸別荘として運用する仕組みを作り、高原の適切な管理と宿泊施設の確保を両立させた。

また、個性豊かでデザイン性の高いコテージを建築し、今までになかった若年層へのアプローチにも成功するとともに、伝統的なゴルフ場ブランドを生野高原のPRに活用するなど、連携やPR方法の随所に創意工夫が見られる。

観光業は裾野の広い業種であり、関係する事業者や業種も多岐にわたる。生野高原の復活は地域産業にとっても受ける恩恵が大きく、今後のさらなる発展が期待される。



生野高原 CC



特色ある建築「Tree Koti」



特色ある建築「Dome Koti」



ツリーハウスカフェ
「THE PERCH 153」



レストラン
「KASSEL」

グループ沿革

- 1962年 ゴルフ場、別荘地開発を目指し『生野高原開発(株)』設立
- 1964年 『生野高原カントリークラブ』オープン、生野高原別荘地分譲開始
- 1979年 『(株)タクミナ』により『Kassel』(ペンション・レストラン)オープン
- 1991年 生野高原は「関西の軽井沢」と呼ばれゴルフ場来場者は4万人超
- 2019年 ゴルフ場来場者はピーク時の半減、『Kassel』宿泊事業撤退
- 2019年4月 『生野高原開発(株)』が『但陽信用金庫』からの出向を受入れ生野高原活性化に着手
- 2020年4月 『生野高原リゾート』復活を目指し『SUGOMoRI プロジェクト』始動
- 2020年8月 建築デザイナー庄司圭介氏が中心となり貸別荘施設5棟を建築、宿泊事業として『SUGOMoRI リゾート生野高原』をスタート
- 2021年8月 『トヨタカローラ姫路(株)』がSUGOMoRIプロジェクトに参画し、『SUGOMoRI レストラン THE PERCH 153』を建築オープン
- 2022年3月 SUGOMoRI リゾート生野高原が『2021 ふるさと名品オブザイヤー』 地方創生賞を受賞
- 2022年5月 50人収容、挙式対応屋外BBQ施設『SUGOMoRI Leaf』オープン
- 2022年6月 『KASSEL RVパーク』(キャンピングカー宿泊施設)をオープン
- 2022年9月 SUGOMoRI リゾート生野高原の宿泊施設は20棟となる
- 2023年4月 『オーベルジュ KASSEL』が宿泊施設をリニューアルし、宿泊事業を復活

事務局住所 (生野高原カントリークラブ)

兵庫県朝来市生野町 1784-29
 TEL 079-679-2335 FAX 079-679-2337
 E-mail: info@ikuno-cc.com
 SUGOMoRI リゾート生野高原 HP: <https://sugomori.hyogo.jp>
 生野高原カントリークラブ HP: <https://www.ikuno-cc.com>



但馬米穀 株式会社

閉校となった小学校跡地を活用したスマート農業の普及及びキャンプ・グランピング事業による地域創生事業へのチャレンジ

農業の担い手減少の問題に対し、スマート農業の普及と米消費・需要を獲得するための拠点を、廃校を利用して整備。「農業」+「観光」+「資源の再利用」は成長に向けた新たなチャレンジである。

特にスマート農業は、農業従事者の担い手不足という社会的問題を解決するひとつの手段として普及が期待されているものであり、第一次産業が県内の他地域より盛んな但馬地域を本拠としている企業が、本格的なスマート農業の普及事業を行うことは、但馬地域の今後の農業経営に与える影響が大きい。

また当該受賞者は、従前より米穀の精米・集荷・検査・販売等を行う自他ともに認める但馬の「米」のプロフェッショナル企業である。施設の有効活用として廃校グラウンドをグランピング施設へ改修し、但馬の美味しいお米を普及・提供する一つの形を整備することで、但馬産の米消費を促進・拡大させることに成功している。

今回の事業ケースが軌道に乗ることで、次の跡地活用の展開も考えられることから、地域の賑わいや雇用の創出、水田・田畑を含めた多自然地域の環境の維持管理など、過疎化の進行で悩む地域の新たな希望となる可能性を大いに秘めている。



本社外観



廃校施設でのスマート農業研修会



グランピング



グランピング施設内装



スマート農業実地研修

会社沿革

- 昭和26年 3月 旧食糧公団職員が中心となり、但馬米穀株式会社を設立
- 昭和52年 3月 豊岡市大手町より豊岡市中陰に本店及び精米工場を移転する
- 平成 8年 6月 新食糧法の下、登録卸売業者となる
- 平成15年11月 豊岡市中陰に新精米工場・倉庫を新築する。無洗米設備を新設
- 令和 2年 4月 アウトドアブランド「パタゴニア」との連携事業で、ソーラーシェアリング及び太陽光発電搭載型農業ハウスを設置する
- 令和 2年 7月 精米HACCP認証を取得
- 令和 3年 4月 神河町立旧越知谷小学校を廃校利活用として賃貸契約を神河町と締結

会社住所

兵庫県豊岡市中陰318-3
 TEL 0796-22-2131
 FAX 0796-24-3987
 E-mail:info@tanbei.co.jp
 HP:https://tanbei.co.jp/

歴代の受賞者

平成19年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 ビトールアンドディー

レース用オートバイホイール(鍛造マグネシウム製)の開発、製造、販売

マルヨ食品 株式会社

但馬を代表する水産物ホタルイカの醤油漬けを開発

中田工芸 株式会社

高級衣料品店等で使用される木製ハンガーの製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

有限会社 夢大地

環境創造型・雇用型農業として、未来を展望したモデル農場

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

但東町花卉球根園芸組合

特産品を活用したチューリップまつりの開催で地域を活性化

農家民宿「八平だるま」 能勢 勇

グリーンツーリズム特区制度を活用した農家民宿の経営

たけの観光協会

愛犬専用ビーチの開設による新たな観光需要の開拓

浜坂観光協会

歴史、文化、産業等の知識を持つカニ専門家「カニソムリエ」の養成

平成20年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

日本精機宝石工業 株式会社

工業用ダイヤモンドの研磨、焼結技術を独自に開発し、精密工具を製造

但馬ティエスケイ 株式会社

冷間鍛造により100mmを超える中空形状に加工できる技術を開発

株式会社 オーク

廃タイヤを利用した振動伝播阻止法(Ti-TAN工法)を開発

株式会社 トキワ

但馬の特産品を活かした調味料やワイン、梅飲料等の製造・販売

吉田体機工業 株式会社 養父工場

競技用体操器具(トランポリン等)の製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

有限会社 清美社

地域一帯となったリサイクル事業(廃油をバイオディーゼル燃料に活用)

神鍋白炭工房 田沼茂之

白炭製造の省力化・量産化設備の開発

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

但熊 西垣源正

卵かけごはん専門店「但熊」の運営による地域の活性化

但馬高原植物園

17haの敷地に、1,000種の自生植物を有する植物園

香住観光協会

カニ検定を実施し、「カニの本場カニのまち香住」を全国にPR

湯村温泉若女将会 ゆむらなでしこ

旅館同士連携して、若女将会「ゆむらなでしこ」を結成し観光PR

平成21年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

富士発條 株式会社

世界最先端分野の超精密金属部品の研究・開発・製造

株式会社 東豊精工

電子部品・医療機器向け世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発と量産化

香住鶴 株式会社

伝統的な酒母造り(生酴・山麴)にこだわり世界に通用する味を追求

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

NPO法人 八チ高原・氷ノ山自然体験村

自然体験活動で、生きる力と夢を育む力の増進

香美町村岡観光協会

ひょうご名物ガイドも輩出した、真心を込めたおもてなしのツーリズム

生活工房香味煙 井上利夫

燻製独特の色と香りにこだわった自然派無添加の手作りハムの製造

平成22年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

美岡工業 株式会社

大型・小型・精密部品とあらゆるニーズに応え世界に通ずる加工技術の確立

株式会社 オーシスマップ

地図をベースにより良いまちづくり、福祉・防災における安心情報の提供

和田山精機 株式会社

超硬合金製冷間鍛造技術の開発により、世界最高水準の金型寿命と高精度の実現

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

城崎このさき100年会議

城崎温泉の新たなおもてなし「ゆめば」の導入

和佐父集落西ヶ岡棚田保全維持会

棚田の景観保全や棚田を活用した体験交流による地域の活性化

平成23年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 タクミナ 生産本部 総合研究開発センター

高精度等速度カムにより、脈動を発生させない「スムーズフローポンプ」を開発し、最新の流体移送技術を確立

株式会社 誠工社

薄物媒体搬送技術における高度な技術ノウハウと部品集約システムを確立

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 田中屋食品

品質の高い出石そばを商品化し、独自性のあるマーチャンダイジングを展開

大徳醤油 株式会社

地元農業者と連携して新商品開発に取り組むなど、農商工連携における地域のリーディングカンパニーとして活躍

平成24年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 多田スミス

鑄造技術レベルの向上を目的としたダイカスト技能士資格取得の促進により、各製品毎の最適な鑄造条件の設定等幅広い知識に基づく理論と実技の両輪で、品質及び生産効率の向上を実現

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 げんぶ堂

コウノトリの野生復帰に取り組む但馬地域で、6次産業を観光に生かし地域資源と一体となった観光誘客を推進

全但バス 株式会社 やぶ市観光協会

地域活性化を目的とした継続的な住民参加型ツーリズム、「但馬・やぶ四季体感ツアー」の実現

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

有限会社 マジック

昇華転写システム構築への取組により、色調管理等のデジタル化による一貫した品質管理に基づくデザインからプリント、縫製までの製作工程の内製化を実現

株式会社 但馬寿

地域産物・伝統技法を活用した製品開発、地域産品の販売や、情報発信機能を合わせ持つ「ゆむら屋」の運営とともに、「地域ブランドソング」も製作・活用し、自社・OB・地域一体となった経営を推進

平成25年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

東海バネ工業 株式会社(豊岡神美台工場)

熟練職人の作り込みを再現した熱間コイルリングマシン「YU-KI」の開発・導入などにより、多品種微量受注生産の「高品質ばね」を全国・世界へ発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

日和山観光 株式会社

ジオパークの楽しみ方「見る・食べる・学ぶ」を具体化した「日和山海岸ガイドセンター」の展開をはじめ、ソフト・ハード両面から先導的・積極的なジオパーク活動を推進

明延鉱山ガイドクラブ

「このままでは鉱山の歴史を伝えられなくなる」との思いを胸に、日本の近代化を支えた産業遺産・明延鉱山の魅力を次代に伝える取組を展開

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 コンゴプロダクツ

昇華転写プリントをホワイトボードへ施した、書いても、消しても転写が剥がれない!「サブリメイトボード」の開発

カタシマ 株式会社

但馬の豊かな自然が育んだ地域産業資源(どぶろく)を活用した日本と欧州の食文化の融合商品「どぶロック」の開発をはじめ、多様な地域連携商品を展開

平成26年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 川嶋建設

高強度炭素繊維を使用した木造建築・耐震補強リフォーム専用工法「耐震ブレース」の開発により、耐震工事の工期短縮とコストダウンを実現

有限会社 ノザキ

加工の難しい超硬合金などの研削加工技術で精度の限界に挑戦し続け、他社が真似できない困難な加工や1ミクロン単位の公差にも対応

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 グリーンウィンド 道の駅「但馬のまほろば」

「但馬の東の玄関口」として、但馬全域の観光情報発信や特産品販売・PRを行い、交流人口の増加に貢献

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

農業生産法人 株式会社 Teams

耕作放棄地の再生による循環型農業と6次産業化で地域の農業ビジネスを開拓

株式会社 サン・ウォーター

兵庫県最高峰、氷ノ山山系の地下200mから湧き出た水を利用した非加熱天然水を製造販売し地域活性化を推進

平成27年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

新生化学工業 株式会社 豊岡事業部

培ったシール技術のノウハウで高品質・低価格な精密プラスチック二色成形品の供給に成功

此の友酒造 株式会社

元禄3年より受け継がれる伝統的な醸造技術による高品質な日本酒で全国新酒鑑評会2年連続金賞を受賞

区分 自然と共生する環境創造事業部門

コウノトリ育むお米 生産部会

コウノトリとの共生を目標に無農薬栽培、減農薬栽培による「コウノトリ育む農法」を推進し、環境と経済が両立する事例として国内外に広く発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 湯村温泉 愛宕山観光

四季折々の豊かな自然環境を活用した商品開発やスポーツ少年団合宿誘致等で交流人口拡大の貢献

株式会社 Mother Earth

カヌー、サップボードを活用したマリナクティビティのマルチ化により海水浴シーズン外での観光誘客を推進

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

八鹿鉄工 株式会社

製造業から農業への進出により新たな農業のスタイルを確立し、高糖度トマトの安定栽培を実現

平成28年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

二方蒲鉾 株式会社

地場の魚は旨かった。温故知新の精神で製品「濃香アゴ短冊」を開発し、平成28年全国蒲鉾品評会最高賞受賞

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

一般社団法人 八チ北高原自然協会

協会設立以来50年間にわたり観光事業を通じ宿泊客の誘致に努め、村岡区の発展に大きく寄与

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 西村工務店

体験交流型観光の開発・提供により観光産業に参入し、観光産業の発展に貢献

平成29年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

田治米 合名会社

「一粒の米にも無限の力あり」の理念のもと、純米酒に特化した酒造りと海外への販売展開

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

若杉高原開発企業組合

星空ハイキングをはじめ、ファミリー向け企画でここだけの体験を提供する「四季型スキー場」

有限会社 さだ助

山陰海岸ジオパークの豊かな海の幸を様々な形で提供する新たな観光拠点KAN-ICHI

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

有限会社 石橋設計

不動産会社による映画館の復活と施設を有効利用した地域コミュニティスペースとビジネス空間の創出

株式会社 谷常製菓

農業参入への新たなチャレンジ。自社栽培イチゴを活用した新ブランド「完熟いちご菓子研究所」の取組み

平成30年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 オフテクス(豊岡工場)

世界初のポビドンヨードを使用したコンタクトレンズのケア用品の開発

区分 自然と共生する環境創造事業部門

JAたじま 出石フクノハナ生産部会

全国唯一(オンリー・ワン)の酒造好適米「フクノハナ」の生産

JAたじま つちかおり米協議会

安全安心なお米と消費者交流の礎となった「つちかおり米」の生産

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 ハマダセイ

地元魚介類を活用した新商品で、5年連続「五つ星ひょうご」に選定

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

キヌガワ 株式会社

靴のクリーニングから修理までアフターメンテナンスに一貫して対応

有限会社 花房商店

醤油製造で培った技術を活用した新たな発酵食品ブランドの開発

但馬漁業協同組合

但馬の豊かな魚資源を活用した「麴の魚醤」など自社ブランドの商品の開発

令和元年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

大豊機工 株式会社

高度なものづくりを支える職人技「きさげ」を用いた信頼性の高い製品づくり

やくの麺業 株式会社

飲食店や農業団体のニーズに応じた「別注麺」の開発

区分 自然と共生する環境創造事業部門

株式会社 キツキ商会

非常時の備えとなる環境に優しい太陽光発電を雪深い但馬地域でも推進・普及

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

ナカバヤシ 株式会社 兵庫工場

農業参入により雇用の維持と本業の技術継承を実現

令和2年度

区分 自然と共生する環境創造事業部門

株式会社 北星社

環境に優しい素材を用いた印刷物の製作並びに環境問題への取り組み

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

かすみ海上タクシー事業協同組合

小型漁船を活用した遊覧事業の創出と異業種組合員との観光・経済振興への期待

あまるべ振興会

山陰海岸ジオパークの中心で、地元観光資源を活用した住民主体の地域活性化

令和3年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 脇漁具製作所

漁師のニーズに応えた新ソデイカ針と釣人向け新タイプブルーアの開発

株式会社 システムリサーチ

コロナ禍でも先生が子どもたちに寄り添える「オンラインの教材配信システム」を開発！

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

マルヤ水産 株式会社

山陰海岸ジオパークで育まれた「香住ガニ」の商品開発と販路拡大により地域活性化に貢献

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

大徳醤油 株式会社

天然醸造の手作り醤油キットの販売による、養父市から全国へ伝統技術の発信

日の出ホールディングス 株式会社 食品カンパニー但馬醸造所

コロナ禍を契機としたスピーディな新商品開発による地域貢献

令和4年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 土居工作所

複雑形状の切削加工に応える技術と多品種少量生産での無人自動生産システムの自社開発

区分 自然と共生する環境創造事業部門

株式会社 白バラドライ

中学校跡の施設を活用した寝具・テントなどの大型クリーニングと保管に特化した省エネ工場の操業

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 たびぞう

環境配慮と地域活性化という新しい視点で参加者自らが創りあげる旅のカタチ【城崎ぶちたび】の開発

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

兵庫県鞆工業組合

廃漁網を創作的再利用した素材生地を用いた「豊岡鞆」事業を新たに展開

兵庫県の施策紹介 事業者向けお役立ち情報

兵庫県では県内の産業振興を図るため、さまざまな施策を展開しています。
詳細はQRコードからHPでご確認ください。

ひょうごで働こう！マッチングサイトと 兵庫県移住支援事業

「ひょうごで働こう！マッチングサイト」

兵庫県内の求人情報を多数掲載！アプリで簡単ダウンロード
兵庫県の就職関連イベント情報をいち早くお届けします。

また、キャリアコンサルタント目線の役立つ就活情報や
性格タイプ診断ページも開設。兵庫県でのお仕事探しに
お役立てください。

関連情報

「ひょうごで働こう！マッチングサイト」登録企業への就業に伴う 移住支援金助成事業

「ひょうごで働こう！マッチングサイト」に登録し、兵庫県及び県内市
町の等顕彰歴のある企業に移住・就業した方に、最大 1,000 千円の移
住支援金が支給されます！

公式のマッチングサイトと
アプリが使いやすい！

利用
無料



ひょうごで働こう！
マッチングサイトと
兵庫県移住支援事業の
詳細はこちらから



兵庫県の産業立地支援

兵庫県で事業所を立地する場合、設備・雇用補助、賃料補助、地方税の軽減措置など様々な
支援を活用することができます。

また、令和5年度より成長産業の更なる集積や、大阪・関西万博開催等により国内外から注
目を集めるベイエリアへの立地促進に向け促進地区を再編！さらなる産業立地の活用を促進し
ています。

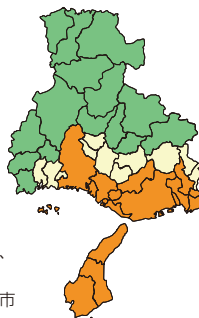
対象
地域

多自然地域(9市6町)

西脇市、多可町、神河町、赤穂市、
宍粟市、たつの市(新宮町)、
上郡町、佐用町、豊岡市、
養父市、朝来市、香美町、
新温泉町、丹波篠山市、丹波市

ベイエリア地域(14市2町)

神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、
伊丹市、宝塚市、明石市、加古川市、
高砂市、稲美町、播磨町、三木市、
姫路市、洲本市、南あわじ市、淡路市



補助
金

設備投資への
補助金が受けられます

【補助率】

投資額の**5%**

新規雇用への
補助金が受けられます

【補助額】

新規正規雇用者

60万円/人

兵庫県の産業立地の
詳細はこちらから



兵庫県の制度融資

兵庫県中小企業融資制度は、兵庫県、取扱金融機関、信用保証協会の3者が協力して実施す
る融資制度で、中小企業者の皆様が必要とする資金を、長期・低利かつ固定で提供し、資金調
達の安定化を図っています。

また、コロナ禍に端を発した世界的な景気の低迷や自然災害による被害、原油高・物価高に
伴う経営不振など、突発的な事案、自助ではどうすることもできない事象などにおいて、中小
企業者の皆様に安定的な資金供給を行うことも大きな目的のひとつです。

新分野進出資金

長期資金・短期資金

経営安定資金・借換資金

設備投資資金

小規模資金

新型コロナウイルス
感染症対策資金

開業資金

経営活性化資金

神戸市独自資金

兵庫県の
中小企業融資制度の
詳細はこちらから





兵庫県但馬県民局
地域政策室 地域づくり課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 TEL 0796-26-3685

05但馬©2-005A4